



人と馬のつながり

we ほーる
ICHIHARA we HALL

農 耕 馬

馬は昔の農業をささえた人の大切なパートナー

昔、馬は農業になくてはならない存在でした。人の代わりに力仕事をしてくれただけでなく、
家族のように大切にされる仲間でした。

今は機械が主役ですが、環境にやさしい農業として馬の力が見直されています。

馬車

戦いから生まれ、文化へと進化した乗り物

馬車の歴史はとても長く、人類の移動・戦争・文化と深く結びついています。
世界最古の馬車は「戦車」。王や貴族の権力の象徴でもありました。
。道路網が整備されると移動で普及し、
競技用の馬車レースも人気となった後に豪華な装飾の馬車が登場し、
移動手段から「見せる文化・芸術へ」と移り変わりました。

流鏑馬

馬に乗って弓をうつ日本の伝統武道

日本の武士の訓練として生まれました。馬をあやつる技と集中力が必要です。

戦の練習でもあり、神様への祈りの行事でもありました。

今では伝統的な神事・スポーツとして受け継がれています。

馬術

馬を自在に操り、人と馬が一体となって動くための技術・スポーツ

もともとは戦いや移動のための実用技術でしたが、
現在では主にスポーツ競技や芸術・教育の分野で発展しています。



競馬

馬の力と人の技をあわせて速さを競うスポーツ

紀元前古代ギリシャ・ローマで馬や馬車で速さを競うレースが行われていました。

中世～近代ヨーロッパ、イギリスで今の競馬の形が整います。

日本には明治時代に外国から伝わり、次第に日本独自の競馬文化が発展しました。

ホースセラピー

馬のあたたかさや動きが、人をやさしく助ける

馬はとてもおだやかで人の気持ちに気づきやすい生き物です。

そばにいただけで心が落ちつく人も多いです。

馬とふれあったり、乗ったりすることで心とからだをゆっくり整えます。



人と馬が、もう一度いっしょに歩く道

すべての引退競走馬は、走る役目を終えても別のかたちで人をささえる馬になれることが理想です。
乗馬、ホースセラピー、観光、繁殖馬、教育。
引退後も安心して生きられる場所が必要です。

weほーる